

(基本的考え方)

コンプライアンスを推進し、当法人が目指すべき姿は、利用者や地域の方々をはじめとする多くの関係者に**信頼され、職員が前向きに仕事に取り組める園づくり**の実現です。そのため、不祥事につながりかねない小さな「ゆるみ」も生じさせない**服務規律**、コンプライアンスを徹底することが必要です。このことを実現するため、職員は3つの視点、【人】・【業務】・【組織】、これらに基づいた行動を実践します。

【人】 高い規範意識

(基本的考え方)

規範意識を高め、職員一人一人が責任ある行動を実践することが、信頼の確保につながる。

(具体的な行動)

- ・当法人の職員として、高い規範意識、倫理観の保持。
- ・常に、当法人の職員としての自覚を持った行動。
- ・非違行為や、利用者等の信頼を傷つける行為は決して行わない。

【業務】 法令等を遵守した適正な業務執行

(基本的考え方)

安全を確保したうえで、迅速かつ適切・適正な業務執行を行うことが、信頼の確保につながる。

(具体的な行動)

- ・前例踏襲ではなく、根拠を確認し、規則やルールに基づいた業務執行の徹底。
- ・業務上の課題や問題点は、組織で共有。
- ・問題や誤りの発生時は、速やかな報告と組織的な対応の徹底。
- ・誤りはいつでもだれにでも起こりうるものと認識し、チェック体制を確立し実行する。

【組織】 風通しの良い組織風土の醸成

(基本的考え方)

風通しの良い組織を作ることで、職員が安心して前向きに仕事に取り組むことができる。

(具体的な行動)

- ・職員間のコミュニケーションを密にし、些細なことであっても誰とでも話し合える関係を構築。
- ・お互いに視線の高さを合わせて、対等な立場として意思疎通を図る。
- ・仕事や人間関係の悩みを一人で抱え込まない。
- ・思考停止にならず、新たなことにチャレンジできるよう、組織としてもそのような行動を後押しする。

(コンプライアンス推進体制)

コンプライアンスの推進には、職員一人ひとりの意識の向上が必要ですが、組織としても、目指すべき姿に向けて全職員が一丸となって継続的に取り組むことが求められます。。園長以下、コンプライアンス委員会をはじめとするあらゆるチームが相互に連携し、この園で働く全ての職員が一丸となって、コンプライアンスの推進に努めます。